

キャラクター名
夜ノ目 新月 (やのめ しんげつ)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
	ウロボロス					
オプション			年齢	18	性別	男
覚醒	命令	衝動	破壊	初期侵食率	31	%
出自	権力者の血統	経験	力の暴走	邂逅	幼子	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	10
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ハンドレッドガンズ		0	0	7		2のみ、マイナー
ハンドレッドガンズ*2		0	0	14		2+3、マイナー
隠されし禁断の影月-カゲノツキ	射撃	6r+10	0	0		1+4+5+6、C値8、メジャー
ハンドレッドガンズ100↑		0	0	8		2のみ、マイナー

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
カジュアル	
携帯	
コネ: UGN幹部	
コネ: 情報屋	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
傍らに立つ影	P	N		
朔	P 懐旧	N 偏愛		
速水 空我	P 〇忠誠心	N 渴望		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:モルフェウス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-LV								
ハンドレッドガンズ	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 武器作成								
ダブルクリエイト	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 武器二つ								
カスタマイズ	2	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 判定ダイス+LV個								
原初の●:マルチウエボン	5	4	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 攻撃力と効果を二つ合計する								
原初の赤:アタックプログラム	4	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 判定達成値+[LV*2]								
魔弾の悪魔	2	4	オート					
効果: 1シナリオLV回、命中判定達成値+10								
成分分析	1							
効果:								
壁抜け	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【基本設定】
暗殺民族「夜ノ目」一族の少年
夜ノ目一族の外見は後述の【夜ノ目一族の設定】を参照
新月は上記の他に、左の目じりに泣き黒子、右目に眼帯をしている
眼帯の下は輝く月のような金色の瞳でありオッドアイ
髪を伸ばしている理由は切るのがめんどくさいという理由から

性格は一言で言うと「不思議ちゃん」、日常会話は語尾が間延びしているが、暗殺や仕事関係の話になるとすっきりした口調になる
パーソナルスペースがないに等しいので、初対面の人にも容赦なく近づき、会うたびに毎回両手で相手の頬に触れて「成分分析」をかましていく（簡易的情報収集みたいな感じ）
生まれと育ち故に、人を殺すことに躊躇がない、心ゆくまで破壊の限りを尽くす

お昼寝が好き、というか昼は大体X市支部の仮眠室で寝てる
小学校までは普通に昼間に通っていたが、UGNに引き取られた後、中学にあがってから昼間に眠るのを自嘲しなくなった、その為中学校の時から高校生になった現在も夜間学校に通っている

覚醒のきっかけは、新月が10歳の時に一族の教えを重んじる父親からの命令で「子殺しの儀式」を行い心臓を穿たれたことからオーヴァードに無事覚醒する（オッドアイになったのもこの時）
だが、覚醒の際に衝動を抑えられず誤ってオーヴァードである父親を殺しきってしまったが、正常に人格統合が終わっていた新月は殺しきったことに対して罪悪感はなく持っておらず、むしろ心ゆくまで破壊の限りを尽くしたかったとも思っていた